

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社マクロスジャパン			
所在地	東京都中央区日本橋富沢町 10 番 16 号			
業種	(G) 情報通信業			
常用労働者数	13 人			
事業内容	医療機関向けシステム開発業			
ホームページ	https://macros.co.jp/			
1 ニーズ調査				
① 実施日	令和 8 年 1 月 23 日			
②方法	アンケート用紙全従業員に手渡し配布			
② 回収率	対象者（都内勤務全従業員） 14 名のうち回収数 13 名 回収率 92.9%（回収数／対象者）			
④調査結果概要	・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 現時点で介護を行っている従業員は一部に存在する、または将来的に介護が想定される層が見られる 介護が顕在化していない従業員も多いが、潜在的な介護リスクは一定程度存在している ・今後の従業員の介護見込みについて 年齢層が比較的高いことから、今後数年以内に介護が必要となる従業員が増加する可能性がある。複数名が同時期に介護を担う状況となる可能性も想定される ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する制度の存在は一定程度認識されている。しかし、具体的な制度内容や利用条件、手続きについての理解は十分とは言えない ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護が発生した場合の業務負荷や納期対応への影響を不安視する声がある 長期化した場合の働き方や評価への影響について懸念が見られる ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 在宅勤務や柔軟な勤務時間調整など、IT 企業の特徴を活かした働き方への期待が高い。 介護状況に応じて段階的に働き方を調整できる制度を望む意向が見られる。 （課題） ☐年齢層が高い社員が多く、今後介護ニーズが顕在化・増加する可能性が高い ☐介護制度は存在するものの、内容理解や具体的な利用イメージが十分に浸透していない ☐介護と仕事の両立に関する不安が潜在化しており、早期の情報提供が求められる ☐介護が長期化した場合の働き方や業務分担の整理が十分に行われていない ☐在宅勤務等の柔軟な働き方を制度として明確化しきれていない ☐介護発生時の相談体制や対応ルールが必ずしも明確ではない			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
① 設置日	令和 7 年 12 月 16 日			
②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名） （メンバー内訳）代表取締役、業務スタッフ			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	12 月 16 日	11：00-11：15	活動内容及びスケジュールの確認	2 名
	1 月 25 日	15：00-15：15	調査結果概要説明、取組案の提示	2 名
	1 月 30 日	15：00-15：15	取組案についての意見交換、確定	2 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和 8 年 4 月～ 定期的な個人面談の実施（年 1 回程度）				
令和 8 年 5 月～ 介護と仕事の両立に関する研修の実施（年 1 回程度）				
4 経営者・管理職への体験型研修の実施				
有り・無し（いずれかに○）				